

# 変わる滋賀 続く幸せ (Evolving SHIGA)

## 商工観光労働部 所属版SDGs行動計画(アジェンダ2019)

※SDGsとは、持続可能な社会をつくるために、2030年までに発展途上国だけでなく、先進国も含めた国際社会が達成を目指して取り組むべき17の目標のこと。2015年9月の国連サミットで採択され、経済成長、社会的包摂、環境保護という3つの課題を統合的に解決することが求められている。

	1 貧困をなくそう		5 ジェンダー平等を実現しよう		9 産業と技術革新の基盤をつくろう		13 気候変動に具体的な対策を		17 パートナーシップで目標を達成しよう
	2 飢餓をゼロに		6 安全な水とトイレを世界中に		10 人や国の不平等をなくそう		14 海の豊かさを守ろう	<div style="font-size: 8px; margin-top: 5px;"> <b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b>                  2030年に向けて                  世界の共通した                  「持続可能な開発目標」です             </div>	
	3 すべての人に健康と福祉を		7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		11 住み続けられるまちづくりを		15 陸の豊かさを守ろう		
	4 質の高い教育をみんなに		8 働きがいも経済成長も		12 つくる責任 つかう責任		16 平和と公正をすべての人に		

所属名 観光振興局

**① 私たちは、滋賀県基本構想に示す「みんなで目指す2030年の姿」のうち、次の未来社会像の実現に向けて、SDGsの視点で所管業務等に取り組みます！**

**目指す2030年の姿(未来社会像)**

●滋賀を訪れる人が増加し、その効果が様々な産業に現れています。  
 琵琶湖に代表される自然環境、滋賀ならではの文化芸術・食・地場産品・歴史遺産などの観光資源や滋賀の生活スタイルの魅力が発信されていることで、国内外から滋賀を訪れる人が増加し、地域が活性化しています。観光客をはじめとする交流人口の増加により、その効果は様々な産業に波及しています。

**② 具体的には、次のアクションに取り組み、共感の輪を広げていきます！**

関連する目標アイコン	具体のアクション（取組）	統合的に課題解決する分野
 	<p>目標：観光を架け橋に、つなぐ滋賀、つづく滋賀</p> <p>「健康しが」ツーリズムビジョン2022で定めた上記基本目標(持続可能な滋賀の観光)を達成するため、本県の観光施策を検討し、実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口を増やし、地域活性化につなげます。</li> <li>・琵琶湖をはじめとする県の魅力について、国内外に効果的に発信します。</li> <li>・市町や観光事業者等、多様な主体と連携して施策を進めます。</li> </ul>	